

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2008年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか 77 番)

神は、そのひとり子をたまわったほどに、この世を愛してくださった。

それは、み子をしんじるものが、ひとりもほろびないで、えいえんのいのちをえるためである。神が、み子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、み子によって、この世がすくわれるためである。

ヨハネによる福音書 3 章 16 ~ 17 節(口語訳)

2008年11月23日は収穫感謝の日礼拝です。毎年、教会学校では朝8時から朝食会を行っています。アメリカ合衆国では11月の第4木曜日はサンクスギビング・デイの祭日で、グレービーソースたっぷりの七面鳥とパンプキンパイが定番のごちそうです。茅ヶ崎同盟教会・教会学校のメニューは特製の豚汁と自分たちで作るおにぎりとフルーツポンチです。当日、いつもより早起きして集まったお友だちは、味もかたちもさまざまなおにぎりをおいしそうに食べていました。今回は幼稚科担当の柏真祈先生のレポートです。



2008年収穫感謝の日・朝食会レポート



11月23日、勤労感謝の日恒例の秋の収穫感謝の朝食会が行われました。いつもの礼拝より1時間早い8時集合。眠い目をこすりながら(私だけ?)ぞくぞくと集まってきました。その手には神様からいただいた秋の収穫物がいっぱい!中には忘れて取りに戻ったお友達もいました。

いつもCS

に来てくれている小学科や幼少科のお友だちや成人科のメンバー、それに今年は毎月第4土曜日に開催されているNew わいわいキッズに来ていたお友達が、お父さん、お母さんを連れてきてくれました。



朝食会は食べる前に、まず森本校長のショート・メッセージを聞きます。アメリカでは11月の第4木曜日はサンクスギビング・デイという収穫感謝のお祭りです。これは今から400年ほど前にキリスト教徒たちがイギリスでの迫害から逃れるためにアメリカにやってきました。新しい地での生活が守られたことを神様に感謝し3日間にわたってたくさんのごちそうでお祭りしたのが始まりだそうです。毎年ここまでは同じお話。そのあと今年は、サンクスギビング・デイが日本に伝わって勤労感謝の日になったことをお話して下さいました。勤労感謝の日は子



どものころの私にとっては“勤労＝一生懸命働いているお父さん”に感謝する日だと思っていました。でも“勤労”とは、お父さんたちが働いていることだけでなく、お母さんがご飯を作ってくれたり、お掃除をしたり、お洗濯をしたりすることも勤労、みんなが学校で一生懸命勉強することも勤労なんだって森本先生は教えてくれました。

そしてショート・メッセージの後は待ちに待った朝食です。メニューは4人の先生合作の豚汁、麗子先生が朝からいっぱいごはんを炊いてくださり、それに大木先生がひと手間かけてくれたおにぎりです。お野菜や豚肉からのおだしと先生方の愛情がたっぷりの豚汁はとってもとっても美味しくておかわりしたくなっちゃうほど！おにぎりはわかめ、梅、あさり、鮭の4種類を自分の好きな大きさに握ります。欲張りな私は全種類食べたくて小さなおにぎりを作って、ちょっとずつ味わいました。みんなもおなかいっぱい神様の恵みをいただきました。



そして分級ではみんなが持ち寄った果物でフルーツポンチ作り。沢山のりんごや柿,キウイ,ラ・フランスなどなど。小学科の 2 人の包丁さばきはおみごと。もうすっかり料理人。幼少科のお友達も負けじと切ってお鍋いっぱいフルーツポンチができあがりました。これをジュニアや成人科のみんなもおいしくいただきました。

今年も神様からいただいた恵みを感謝しつつ朝食会を終えることができました。これからはクリスマスに向けて楽しいことがいっぱい用意されています。沢山のお友だちが来てくれるよう祈っています。(柏 真祈 記)

編集後記 (Dec..7th,2008Updated)



教会学校だより,今回は収穫感謝の日・朝食会のレポートをご紹介しました。いよいよ 12 月です。待ちに待ったクリスマスの季節です。今年度のクリスマス祝会は 12 月 21 日に行われます。そして,礼拝後の分級ではページの練習を始めました。幼稚科から成人科まで,毎週日曜日の 9 時から皆さまのご参加をお待ちしております。今回もおまけ画像として,11 月 28 日に行われた創立 49 周年記念礼拝の後に撮影した集合写真を掲載しました。(森本)



Nov.28th 2008 創立 49 周年記念礼拝にて

